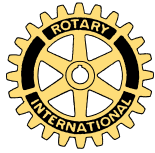


THE ROTARY CLUB OF KARIYA



Weekly



2022～2023年度 国際ロータリー ジェニファー E. ジョーンズ 会長テーマ

IMAGINE ROTARY イマジン ロータリー

創立 1954年 3月 8日
承認 1954年 3月 30日

例会日時 毎週月曜日
12:30～13:30
例会場 刈谷市新栄町3の26
刈谷商工会議所内
事務所 TEL (0566)22-2111
FAX (0566)25-2111
メール kariyarc@katch.ne.jp
ホームページ http://www.kariya-rotary.com
会長 小川 耕 示
幹事 丹羽 克 誌
会報委員長 石川 友 美

この会報は、地球環境保全に考慮し再生紙を使用しています。

第3188回例会プログラム

[当年度=27回目；当月=4週目]

2023年（令和5年）2月27日(月)

1. 例会……………〈司会：プログラム委員会〉

- 12:00 〈食 事〉
12:28 1. チャイム
12:30 2. 点 鐘……〈会 長〉
3. 開会宣言
4. ロータリーソング斉唱……日も風も星も
5. 講師・ゲスト並びにビジター紹介
6. 会長挨拶並びに会長報告
7. 幹事報告
8. 出席報告
9. 委員会報告
10. ニコニコボックス報告
11. 次週並びに次々週のプログラムの予告

(3/6) ……

創立記念例会

卓話 「石田退三の生涯」

講師 一般財団法人 石田退三記念財団
理事長 石田泰正 様

(紹介者 寺田 博正 会員)

(3/13) ……

クラブフォーラム(公共イメージ向上委員会)

卓話 「新聞は面白い～業界紙10年、
経済紙20年の取材活動から～」講師 中部経済新聞社刈谷支局
松田理恵子 様

(紹介者 野村紀代彦 会員)

2. クラブフォーラム……………〈国際奉仕委員会〉

- 13:00 卓話 「愛知子ども応援プロジェクトについて
～子どもの貧困・教育格差をなくすために～」
講師 藤野 直子 様 (名古屋名東 RC)
(紹介者 兵藤 文男 会員)

12. 謝 辞

13. 点 鐘……〈会 長〉

14. 閉会宣言

13:30 15. 散 会

出 席

会員総数 98名 出席免除 27名
出席義務者+免除者の内例会出席者 87名
欠 席 6名 出席率 93.10%
前々回(2/13)の修正出席率 100%

会 長 報 告

- 1) 2760地区ガバナーエレクトより、次年度地区出向者に委嘱状が届きました。
地区諮問委員会 委員 野村 重彦 会員
社会奉仕委員会 副委員長 出口 達也 会員
職業奉仕委員会 委員 杉浦 文雄 会員
国際奉仕委員会 委員 寺田 博正 会員
資金推進委員会 委員長 佐野 彰彦 会員
補助金委員会 委員 山下 雅則 会員
米山記念奨学委員会 委員 池田 直樹 会員
- 2) RI ロータリー財団よりマルチプルポールハリスフェロー2回目のバッチを塚本幸夫会員に、1回目のバッチが加藤英樹会員に届いております。ポールハリスフェローの認証状およびバッチが盛田高史会員に届いております。
- 3) 2月6日(月)刈谷市役所にて開催の刈谷市緑化推進協議会に参加してまいりました。
- 4) 2月7日(火)刈谷市役所にて開催の刈谷市交通安全協議会に幹事が出席してまいりました。
- 5) 2月16日(木)新南愛知カントリークラブ美浜コースにて2月度ゴルフ例会を開催致しました。グロス103、ネット73.0にて伊藤節夫会員が優勝されました。



塚本 幸夫 会員



加藤 英樹 会員



盛田 高史 会員

幹事報告

- 1) 本日例会終了後に特別会議室において、第9回理事会を開催致します。関係の会員は出席をお願い致します。
- 2) 近藤洋一会員が退会されましたので、会員数を98名と訂正致します。

会長あいさつ

小川 耕示



今月の11日にスワナブームロータリークラブよりグローバル補助金の資金調達の目処がたったという連絡がありました。早速、刈谷ロータリークラブは承認し、2760地区にも承認の依頼を致しました。現時点で援助

国側の承認は終わっているのですが、あとは実施国側の承認により、事業をスタートすることができます。スワナブームロータリークラブから本事業のプロモーションビデオが届きましたので、皆さんに観て頂こうと思います。



今回の援助国はタイですが、タイは4地区に分かれていて病院のあるチュムポーンはタイ南部の3330地区にあります。この事業で中心となっているスワナブームロータリークラブは3350地区で、バンコクとカンボジア、ミャンマー、ベトナムがエリアになっていて日本人の飯田光孝氏がガバナーを務められています。その他、タイの中央3340地区とタイ北部とラオスをエリアとする3360地区が有り、4地区共同で事業を行うことになっています。

3月18・19日には、3350地区の地区大会がパタヤで開催されるので、刈谷ロータリークラブとして参加する予定です。

クラブフォーラム

卓話「愛知子ども応援プロジェクトについて ～子どもの貧困・教育格差をなくすために～」

講師 藤野 直子 様 (名古屋名東 RC)



2017年より「RCC」を結成し、子ども食堂と共に奉仕活動を行っております。現在はRCC提唱を外し、「一般社団法人愛知子ども応援プロジェクト」として活動しております。本日は、子どもの貧困の現状や子ども食堂の活動についてお話しします。

「貧困の定義」は二つあります。①「絶対的貧困」：国連の定義により一日1.9 \$未満で暮らしている状態。②「相対的貧困」：先進国で用いられる定義で、文化水準・生活水準と比較して困窮した状態。厚生労働省の国民生活基礎調査による貧困ラインは127万円、子どもの貧困率は13.5%でした。実に、7人に一人のお子さんが、貧困ライン以下のご家庭で生活をしているのです。そして、ひとり親家庭の子どもの貧困率は、48.3%にも上ります。

貧困状態のお子さんは不十分な衣食住・栄養不足・虐待やネグレクトなどにより、精神的に不安定で低学力になりがちです。いじめの対象になりやすく、不登校や中退も多く、安定した仕事に就くことも難しくなります。これが「負の連鎖・貧困の連鎖」です。さらに、「経験や関係性の貧困」にも陥りやすく、将来に大きな影響を及ぼします。こどもの貧困は、見ようとしなければ見え

ません。私たちのすぐ近くにいることを認識して頂きたいのです。

また、貧困ライン以下のお子さんの食事は、タンパク質が足りません。炭水化物で空腹を満たすので、栄養が偏ります。いまや日本中に7000か所以上の「子ども食堂」が開設され、食料品のお渡しやお弁当配布も行っています。

私共は、教育の機会を支えるための「実家基金」を立ち上げました。高校に合格したが、制服代などが足りないなど、あと少しのお金があったら、人生が変わるといふ岐路が、困難家庭ではあるのです。同じスタートラインに立たせてあげるための基金です。

ロータリークラブには、まだまだ余力があると感じております。ひとりでも多くのお子さんを、負の連鎖から引き上げて差し上げるための奉仕活動を続けて参ります。今後とも、宜しくご理解ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

